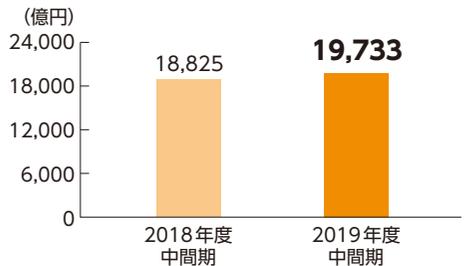


2019年度中間期決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する中間純利益は6,099億円と、期初設定の通期業績目標9,000億円に対する進捗率は67.8%
- 貸出金は前年度末比1.2兆円の減少、預金は0.4兆円の増加
- 普通株式等Tier1比率は12.68%と、十分な水準を維持

連結業務粗利益



金利低下影響により資金利益が減少しましたが、債券関係損益が増加し、前年同期比907億円増加しました。

与信関係費用総額*

前年に計上した貸倒引当金の戻入の反動により、前年同期比1,360億円増加し、180億円の費用計上となりました。

* 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
● 与信関係費用総額(△は費用)	
経常利益	
親会社株主に帰属する中間純利益	

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	
貸出金(銀行勘定)	
有価証券	
うち国債	
負債の部合計	
預金	
純資産の部合計	

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	
Tier1比率	
総自己資本比率	

(単位: 億円)

2018年度中間期 (2018年4月~9月)	2019年度中間期 (2019年4月~9月)
18,825	19,733
13,144	13,420
5,681	6,313
1,179	△180
8,859	7,952
6,507	6,099

(単位: 億円)

2018年度末	2019年度中間期末
3,111,389	3,144,800
1,074,124	1,061,892
642,624	618,407
226,430	201,231
2,938,772	2,965,975
1,801,712	1,806,635
172,616	178,824

営業費

海外での業容拡大や規制対応コスト等により、前年同期比275億円増加しました。

親会社株主に帰属する中間純利益



前年同期比408億円減少し、6,099億円となりました。

貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人向け貸出の減少を主因に、前年度末比1.2兆円減少しました。預金残高は、個人預金および海外預金の増加により、前年度末比0.4兆円増加しました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は、12.68%と引き続き十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。